

第6次高浜市総合計画推進会議②

目標の達成状況、課題、見直し・改善（案）などを点検・確認！

第2回・第3回の総合計画推進会議（7月22日・8月5日開催）では、中期基本計画（平成26～29年度）に掲げる11目標について、目標達成状況はどうだったか、平成27年度の実績や成果・課題、課題解決に向けた今後の見直し・改善（案）など、行政内部の点検・検証結果を、担当部署の職員から発表しました。

そして、高浜市をよりよいまちにしていこうためにはどうしたらよいか、目標の達成に向けて改善すべき課題や今後の取組みにつながるアイデアなどについて、意見交換を行いました。



目 標	取組みから見てきた課題と今後の見直し・改善(案)の概要	推進会議からの主な意見
<p>(1) まちへの想いを育み、未来を切り開くチカラを高めます 【協働・自治】</p>	<p>①まちづくりの裾野を広げる取組み 「しあわせづくり計画」について、市民とともに“実践”していきける仕組みを構築する。</p> <p>②交付金制度の見直しによる「地域の総合力」基盤のさらなる強化 交付金の使途を話し合う「おさいふ会議」の開催をとおして、事業の必要性や効果などについて説明責任を果たし、活動の透明性を高めていく。</p> <p>③「若手世代」の地域活動に参加するきっかけづくり 若手・中堅職員による職員のための研修を行い、地域活動参加の大切さや楽しさを伝承していく。</p>	<p>・まちへの愛着・誇りを高めていくためのイベントを企画する際に、ある程度融通を利かせる交付金の枠も必要ではないか。</p>
<p>(2) 将来を見据えた計画的・効果的な財政運営を行います 【財政運営】</p>	<p>①高浜市の次世代に向けた取組みの推進 施設の複合化のモデル事業となるよう、高浜小学校等整備事業の取組みの見える化を図る。</p> <p>②事業の不断の見直し 事業費の削減や自主財源の確保など、中長期的な視点で事業の見直しを行う。</p> <p>③徴収力の強化 職員の折衝力を向上させ、交渉業務を適切に行う。</p>	<p>・公共施設の維持管理や建て替えるのにどれだけのコストがかかるかなどを、図表化・可視化することで市民の理解につながる。</p> <p>・公共施設の複合化・集約化を進めるには、市民の理解が不可欠である。今後は、より慎重に進めることが大切となってくる。</p>
<p>(3) 人と学びの輪を広げ、まちのチカラを育みます 【生涯学習】</p>	<p>①「まちへの愛着・誇り」を高める 多様な市民参加の手法を取り入れながら、市誌編さんに着手する。</p> <p>②(仮称)高浜緑地の早期供用開始 県衣浦港務所との協議をとおして、グラウンド部分の早期完成をめざしていく。</p> <p>③生涯学習・スポーツ施設のあり方 施設利用者などの想いに寄り添いながら、複合化・集約化の検討を進める。</p>	<p>・生涯学習の体系、および施設は公民館だけではないということ、市民の皆さんに理解していただく必要がある。</p> <p>・今後作成される市誌、加えて現在の市誌を電子化することで、市誌が市民にも親しみやすいものになると思う。</p>



▲目標(3) タカハマ！まるごと宝箱 (聞き書き冊子「おひろめ会」)



▲目標(2) 「公共施設のあり方」説明会



▲目標(1) しあわせづくりフォーラム